

慶應大の林出といいます

設置センサで患者の見守りアシスト。通知の方法についてアンケートに答えていただきたく

【録音確認】

被験者名：児玉

職種：NS

年数：15

音声か動画が流れるので、それを聞いたら次に何するかを教えて

例1

- 次の行動
 - 条件1：特に気にしない
 - 条件2：近くに行って、チューブを触っていなければ手を触れる前までなら見守る
 - 条件3：行く（どこに手が行くのか、チューブを直接か顔の他の場所なのかを判断し）
- 並び替え：3-2-1

例2

- 次の行動
 - 条件1：近くに行く
 - 条件2：近くに行く（落ちそうだったら支える。1と2で姿勢の崩れ方とAさんの店頭歴・認知機能などを判断する。）
 - 条件3：みにいって声をかける。太田さんの傾向が最近わかってきた。もつと落ちてきたら近寄る
- 並び替え：3-2-1

例3

- 次の行動
 - 条件1：まだすぐは近づかない
 - 条件2：動きを見ながら近くに行く（名前）
 - 条件3：自立許可なかったら声をかけながら近くに行って、たった理由を聞く。自立許可があったとしても、気にはする。通知は知らない。
- 並び替え：3-2-1

例4

- 次の行動
 - 条件1：近くに行って用事を聞く
 - 条件2：急ぎ目で近づく
 - 条件3：言葉を発せない患者なので、要件を聞く。
- 並び替え：3-2-1

動画：5分くらいの動画。要る・知らないを教えて

- 通知1：スタッフが見ていないAさんが、姿勢を崩しています（17s）
 - 不要
 - 理由：麻痺が強い患者なので（重症だと気にする）
- 通知2：スタッフが見ていないFさんが、立ち上がっています（155s）
 - 必要・不要

- 理由：自立許可がなくても要らない
- 通知3：スタッフが見ていないAさんが、姿勢を崩しています (260s)
 - 不要
 - 理由：患者のキャラクターを把握しているので、この人のこのくらいの動作だったら不要（つまりこれは通知を見て却下の判断をするといっている→通知の必要性はあるかも）
- 通知4：スタッフが見ていないDさんが、姿勢を崩しています (16s)
 - 不要
 - 理由：なくてもよい
- 通知5：スタッフが見ていないIさんが、姿勢を崩しています (162s)
 - 不要
 - 理由：
- 通知6：スタッフが見ていないDさんが、姿勢を崩しています (10s)
 - 不要
 - 理由：
- 通知が不要と思うのは、画面を見てその人の特性を考慮して必要か不要かを判断するから。
- 最終的な対応の要・不要は自分で判断するので、ひとまず通知してもらうという手はある
- 結果的に対応不要な箇所だったので、通知は要らないと思った。
- 90秒あたりで車椅子を触る患者はかなり危ない（本人の特性を知っているから）
- ひとまず通知をしてもらって、その必要性の有無は自分が判断するでもいい。ただし本当にほしいのは車椅子を動かそうとしている患者